

情報通信配線フォーラム 2005 情報配線技術技能競技大会
光配線施工競技課題

【参加条件】

年齢制限なし 一人競技

【競技人数】

10名 申し込みが10名以上の場合は抽選とする。

【全般】

競技課題は、屋外成端作業・屋内配線作業・測定作業の3項目から構成されている。

競技時間は、標準時間60分、打ち切り時間90分とする。

競技が終了時間前に完了した競技組は、審判に手を上げて申し出ること。

競技中の質問は一切受け付けない。

ただし、緊急かつ必要性のある場合には、対応を協議するので申し出ること。

また、審判が競技中に作業内容に関する質問等を行うことがあるので了承のこと。

使用可能とされた器工具・部材のみ用いてよい。

疑義がある場合には、競技開始前に申し出ること。

支給材料の中には余るものもあるが、できるだけ材料節約に努めること。

支給材料は、不良の場合を除き追加支給をしない。

安全作業に十分配慮すること。

【審査の基準】 以下の項目を審査の基準とする。

設計/施工作業の正確さ

設計/施工時間

施工後の特性

施工・配線の美しさ

お客様サイドに立った考え方：4C施工がなされているか

(Comfortable, Convenient, Consulting and Communication)

【表彰】

第1位～第3位(金・銀・銅)を各1組決する。

一定の基準に達した組には敢闘賞を与える。

【競技課題】

以下の条件に従い作業を行うこと

構内に在る引込柱に設置されている仮想P O I から、住宅の屋内成端箱まで光ドロップワイヤを布設する。

それぞれコネクタ取り付けと成端を行う。

成端箱の取り付け、成端。

(光ドロップとインドア光ケーブルは、屋内成端箱において、メカニカル接続を行う)
光ケーブルの引き込み、穴あけ等。

(住宅ブースの左側は新築工事中を想定、右側は新築完了を想定)

コネクタ成端 (SCコネクタの組立)

測定作業 : 以下の測定作業を行うこと。(施工完了後のロス測定・記録)

- ・ 線路損失測定用に仮想POI側に光コネクタ取付を行うこと。
- ・ 試験成績書の提出(フォーマット有)を行うこと。

【支給物品】

以下の物品を支給する。

屋外成端光キャビネット

光インドアケーブル

光ドロップケーブル

CD管・取り付け用サドル・配管用アダプタ

【競技者が持参する物】

筆記用具、工具(成端用、穴あけ、光ケーブル用外皮剥ぎ取り、)

メカニカルスプライス接続機

損失測定器

心線接続材料、配線材料(露出配線用)

その他

【配線施工条件】

お客様から以下の要望があった前提。

- ・ ブロードバンド時代に相応しい光配線を希望
- ・ 客間の奥にM/C(メディアコンバーター)との接続希望
- ・ 美観に配慮することを希望
- ・ 時間内に完成することを希望

お客様宅の住宅構造

- ・ 新築木造平屋建て・・・左側はリビング、右側は客間(ブース)
- ・ 配管無し

屋内配線作業

- ・ インドアケーブルを客室部分へ露出配線すること。
- ・ インドアケーブルの端末に現場組立SCコネクタを取り付けること。
- ・ 住宅ブース中央の間仕切り下部の貫通口は使用しないこと。

【その他】

- ・ 光ファイバ心線の接続はねじれを最小限の状態で行うこと。
- ・ 光ファイバ心線及び光ファイバテープ心線の曲率半径は、3 c m以上を確保すること。
- ・ ケーブル防護は必要により行うこと。